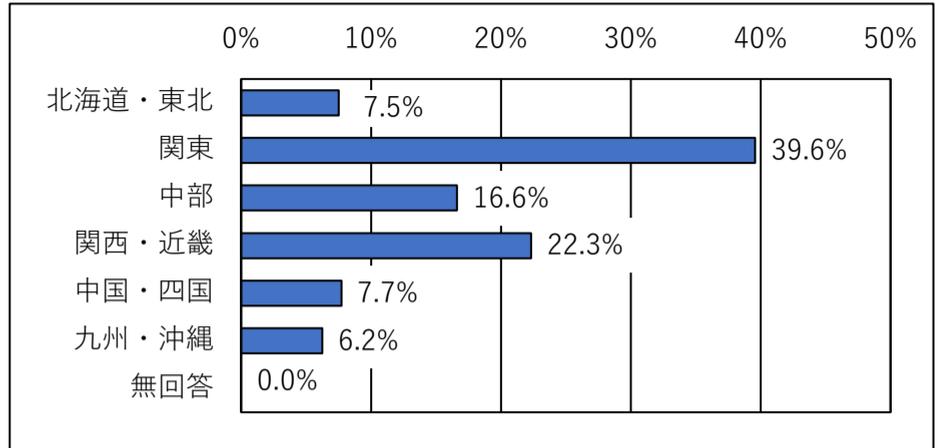


調査B <日本私立看護系大学協会>

設置ブロック

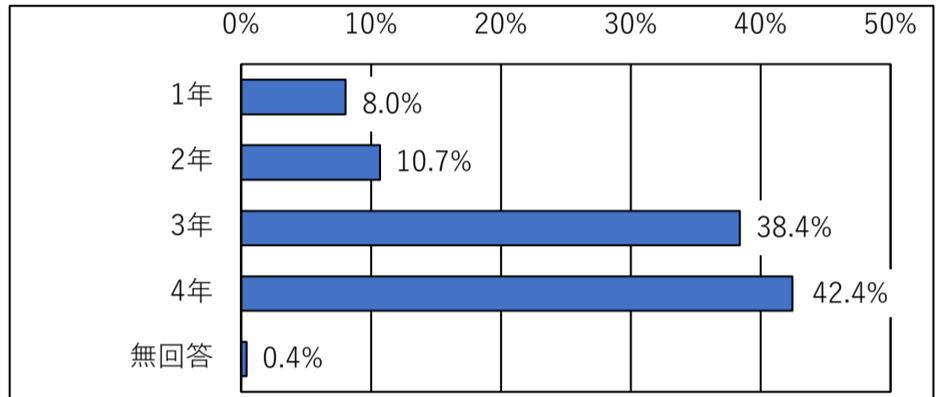
No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道・東北	71	7.5%
2	関東	374	39.6%
3	中部	157	16.6%
4	関西・近畿	211	22.3%
5	中国・四国	73	7.7%
6	九州・沖縄	59	6.2%
7	無回答	0	
	全体	945	100.0%



1. ご担当の実習科目についてご記入ください。

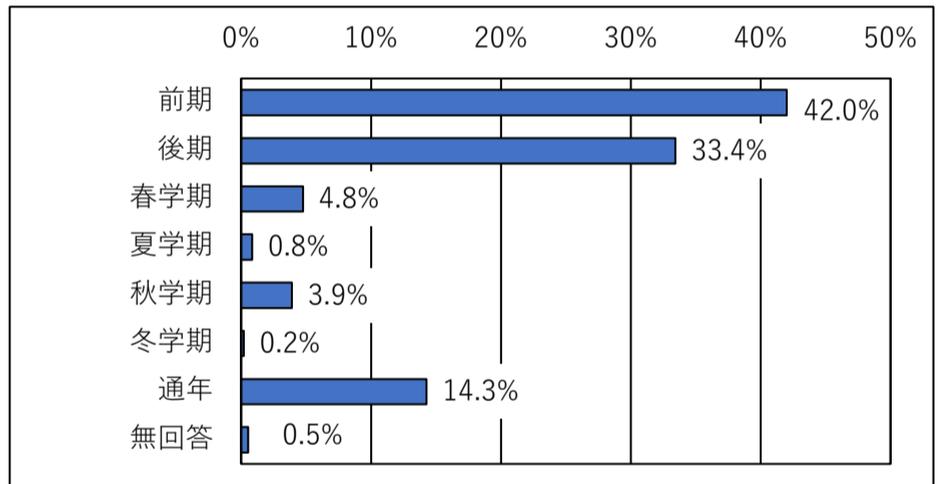
学年等

No.	カテゴリー名	n	%
1	1年	76	8.0%
2	2年	101	10.7%
3	3年	363	38.4%
4	4年	401	42.4%
	無回答	4	0.4%
	全体	945	100.0%



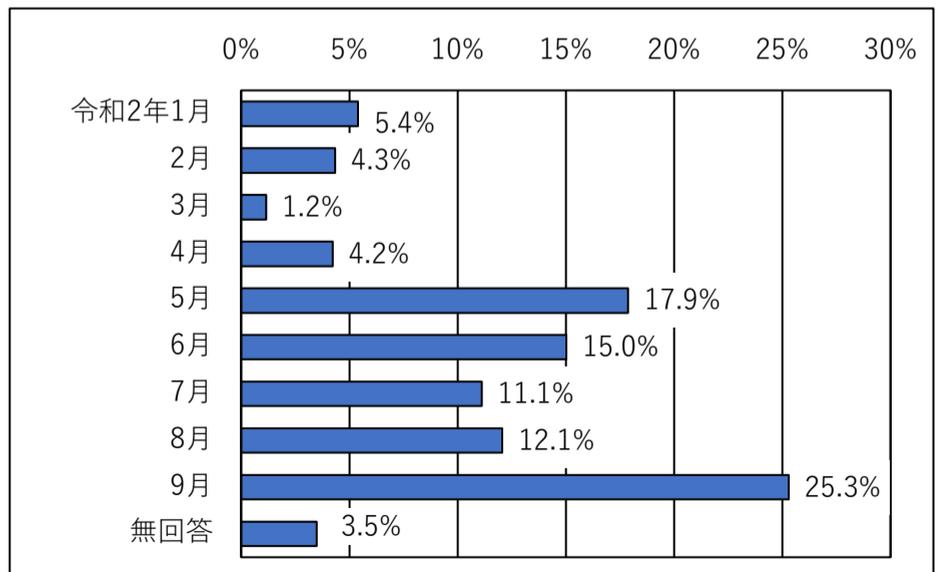
開講学期

No.	カテゴリー名	n	%
1	前期	397	42.0%
2	後期	316	33.4%
3	春学期	45	4.8%
4	夏学期	8	0.8%
5	秋学期	37	3.9%
6	冬学期	2	0.2%
7	通年	135	14.3%
	無回答	5	0.5%
	全体	945	100.0%



実習開講時期 (予定時期_2020年)

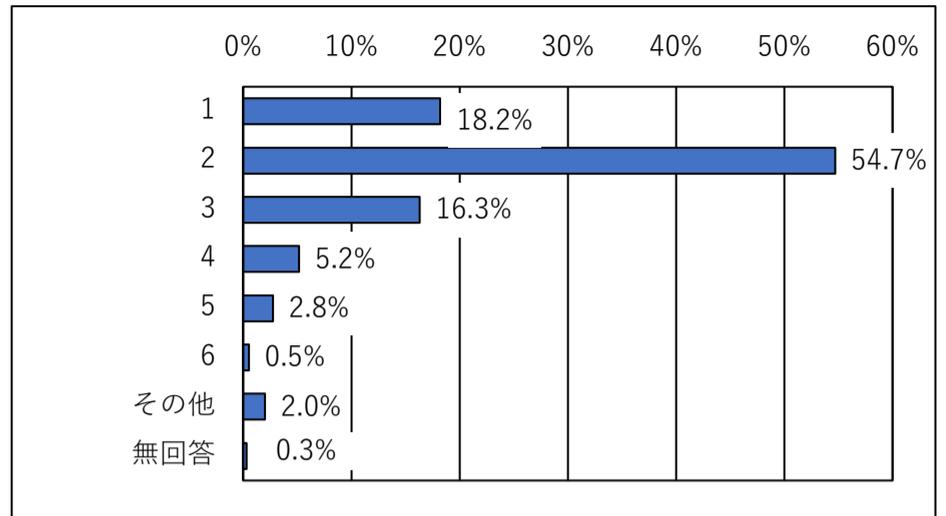
No.	カテゴリー名	n	%
1	令和2年1月	51	5.4%
2	2月	41	4.3%
3	3月	11	1.2%
4	4月	40	4.2%
5	5月	169	17.9%
6	6月	142	15.0%
7	7月	105	11.1%
8	8月	114	12.1%
9	9月	239	25.3%
	無回答	33	3.5%
	全体	945	100.0%



調査B <日本私立看護系大学協会>

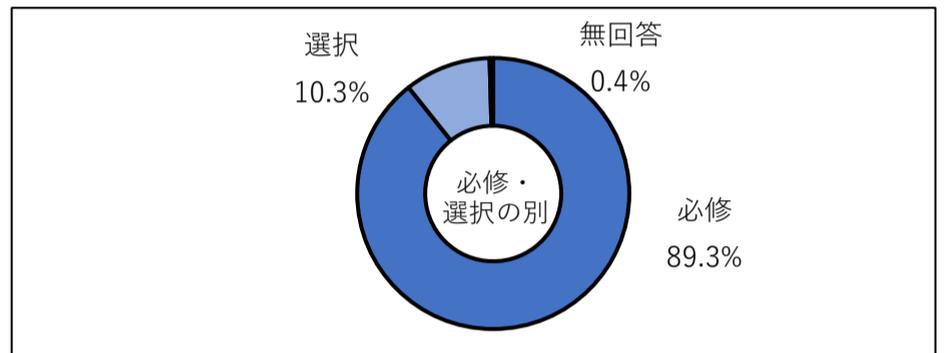
単位数

No.	カテゴリー名	n	%
1	1	172	18.2%
2	2	517	54.7%
3	3	154	16.3%
4	4	49	5.2%
5	5	26	2.8%
6	6	5	0.5%
7	その他	19	2.0%
	無回答	3	0.3%
	全体	945	100.0%



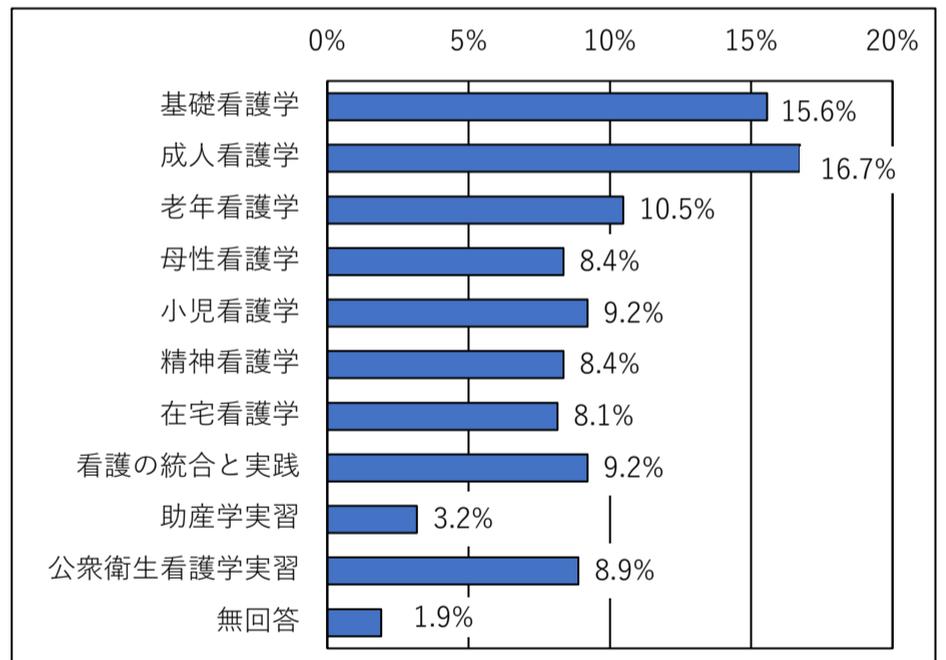
必修・選択の別

No.	カテゴリー名	n	%
1	必修	844	89.3%
2	選択	97	10.3%
	無回答	4	0.4%
	全体	945	100.0%



該当する専門領域

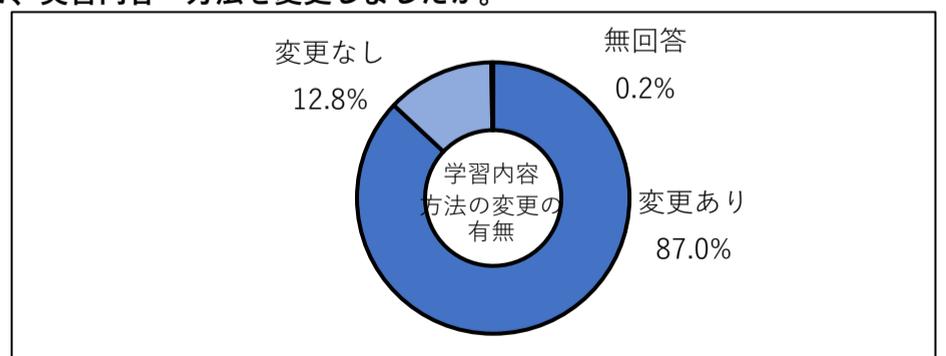
No.	カテゴリー名	n	%
1	基礎看護学	147	15.6%
2	成人看護学	158	16.7%
3	老年看護学	99	10.5%
4	母性看護学	79	8.4%
5	小児看護学	87	9.2%
6	精神看護学	79	8.4%
7	在宅看護学	77	8.1%
8	看護の統合と実践	87	9.2%
9	助産学実習	30	3.2%
10	公衆衛生看護学実習	84	8.9%
	無回答	18	1.9%
	全体	945	100.0%



II. COVID-19 流行による社会的影響を受け、ご担当の科目において、実習内容・方法を変更しましたか。

実習内容・方法の変更の有無

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり⇒以下の質問に回答ください	822	87.0%
2	変更なし⇒回答はここで終了です	121	12.8%
	無回答	2	0.2%
	全体	945	100.0%

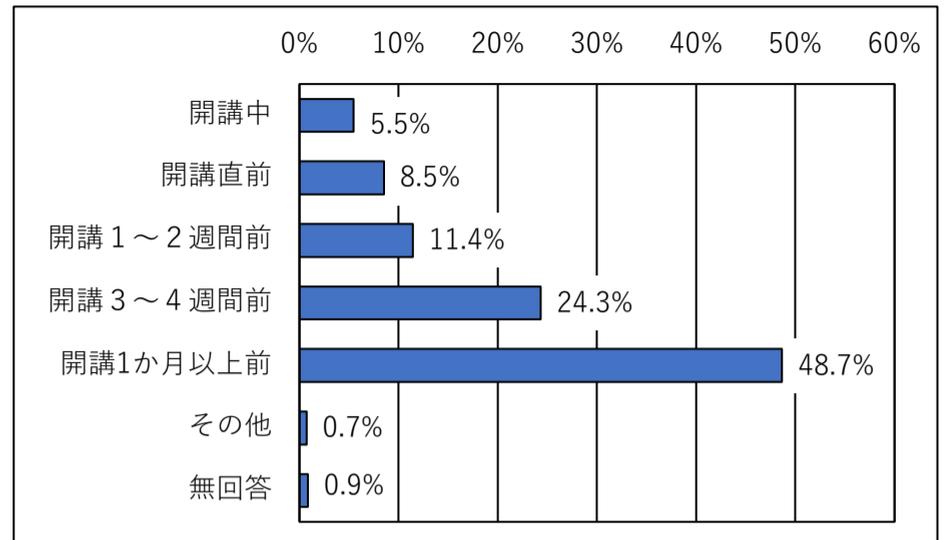


調査B <日本私立看護系大学協会>

Ⅲ. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

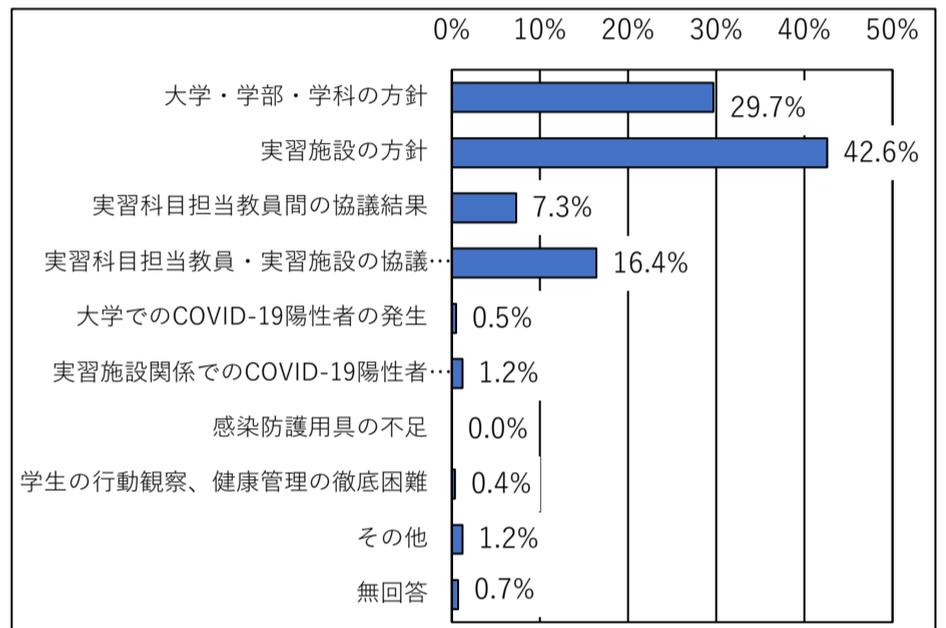
変更決定時期

No.	カテゴリー名	n	%
1	開講中	45	5.5%
2	開講直前	70	8.5%
3	開講1～2週間前	94	11.4%
4	開講3～4週間前	200	24.3%
5	開講1か月以上前	400	48.7%
6	その他	6	0.7%
	無回答	7	0.9%
	非該当	123	0.0%
	全体	822	100.0%



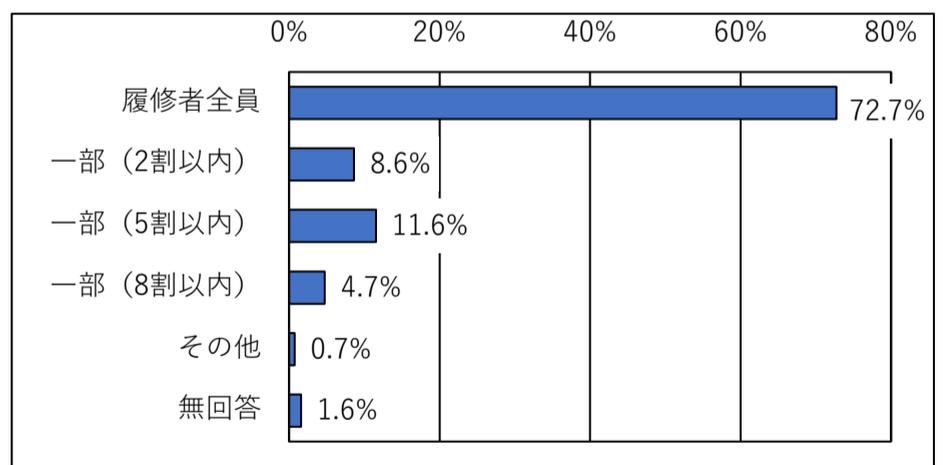
変更理由（主たる理由1つを選択ください）

No.	カテゴリー名	n	%
1	大学・学部・学科の方針	244	29.7%
2	実習施設の方針	350	42.6%
3	実習科目担当教員間の協議結果	60	7.3%
4	実習科目担当教員・実習施設の協議結果	135	16.4%
5	大学でのCOVID-19陽性者の発生	4	0.5%
6	実習施設関係でのCOVID-19陽性者の発生	10	1.2%
7	感染防護用具（マスク、手指消毒剤）の不足	0	0.0%
8	学生の行動観察、健康管理の徹底困難	3	0.4%
9	その他	10	1.2%
	無回答	6	0.7%
	非該当	123	0.0%
	全体	822	100.0%



変更した学生数

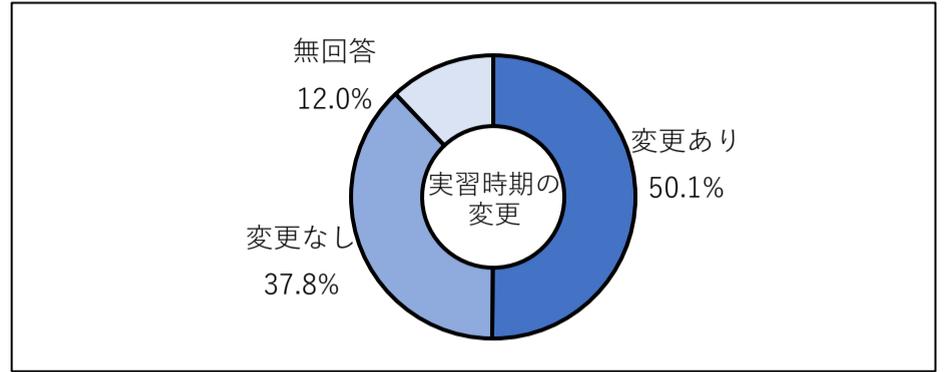
No.	カテゴリー名	n	%
1	履修者全員	598	72.7%
2	一部（2割以内）	71	8.6%
3	一部（5割以内）	95	11.6%
4	一部（8割以内）	39	4.7%
5	その他	6	0.7%
	無回答	13	1.6%
	非該当	123	0.0%
	全体	822	100.0%



調査B <日本私立看護系大学協会>

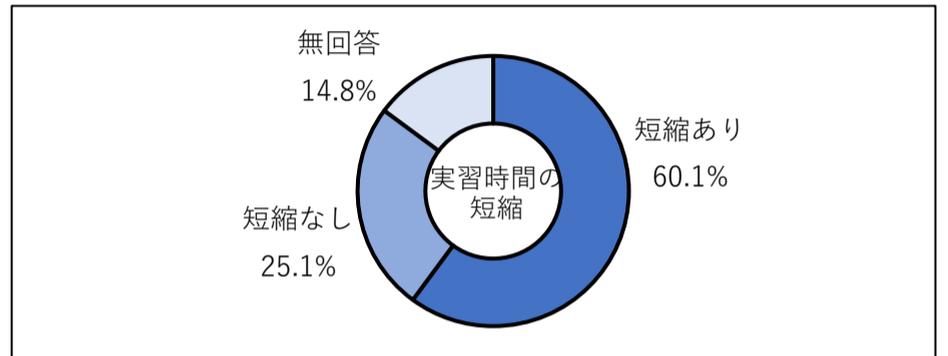
臨地での実習時期の変更（延期含む）

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	412	50.1%
2	変更なし	311	37.8%
	無回答	99	12.0%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



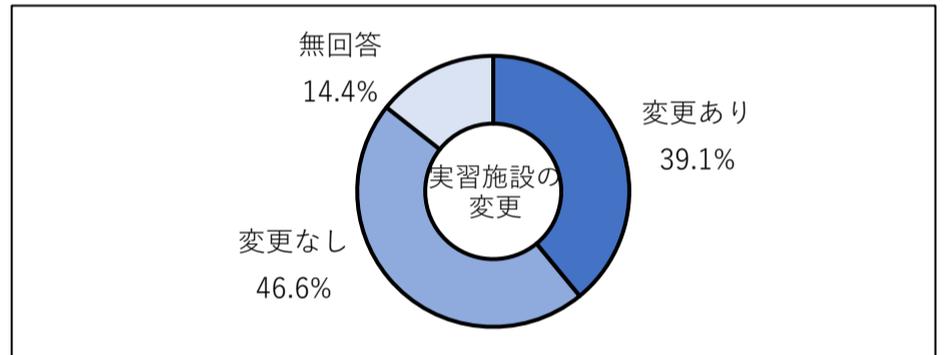
臨地での実習時間の短縮

No.	カテゴリー名	n	%
1	短縮あり	494	60.1%
2	短縮なし	206	25.1%
	無回答	122	14.8%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



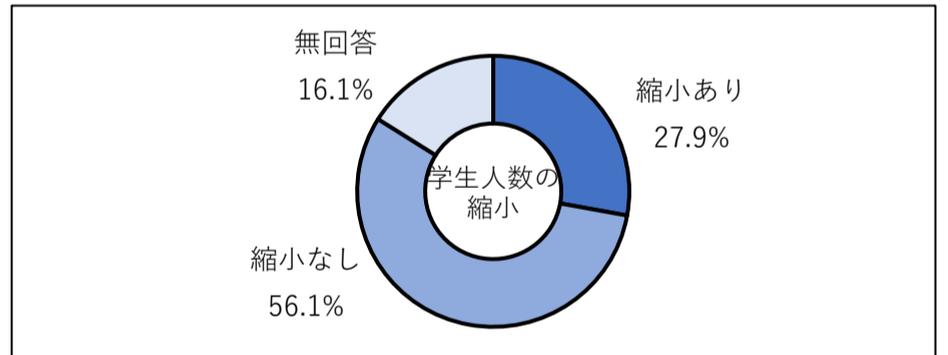
実習施設の変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	321	39.1%
2	変更なし	383	46.6%
	無回答	118	14.4%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



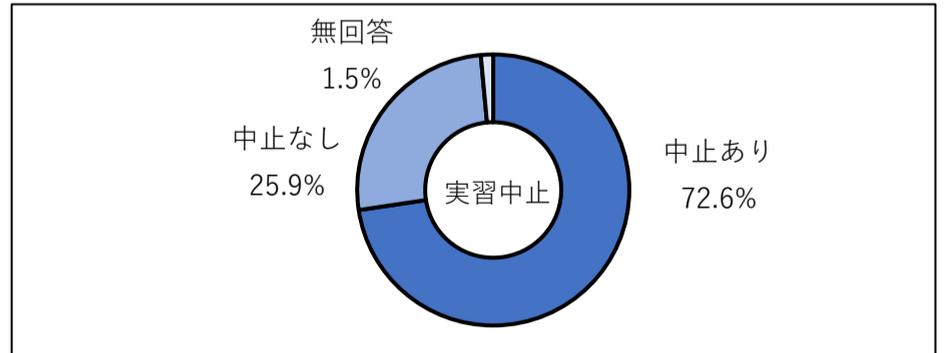
実習施設ごとの学生人数の縮小

No.	カテゴリー名	n	%
1	縮小あり	229	27.9%
2	縮小なし	461	56.1%
	無回答	132	16.1%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



臨地での実習中止

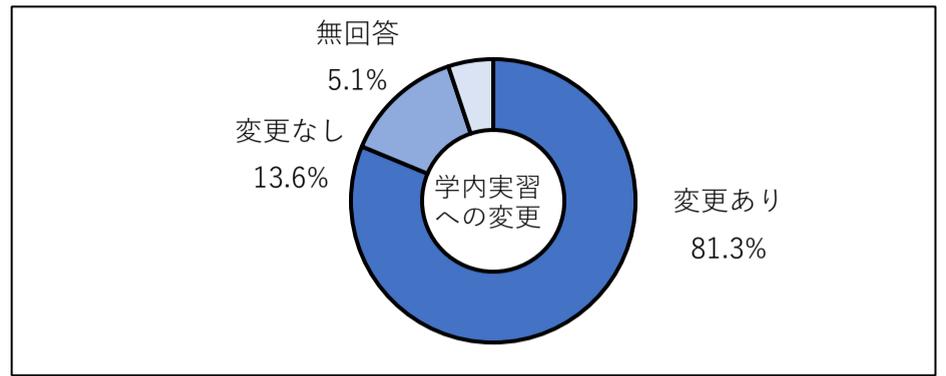
No.	カテゴリー名	n	%
1	中止あり	597	72.6%
2	中止なし	213	25.9%
	無回答	12	1.5%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



調査B <日本私立看護系大学協会>

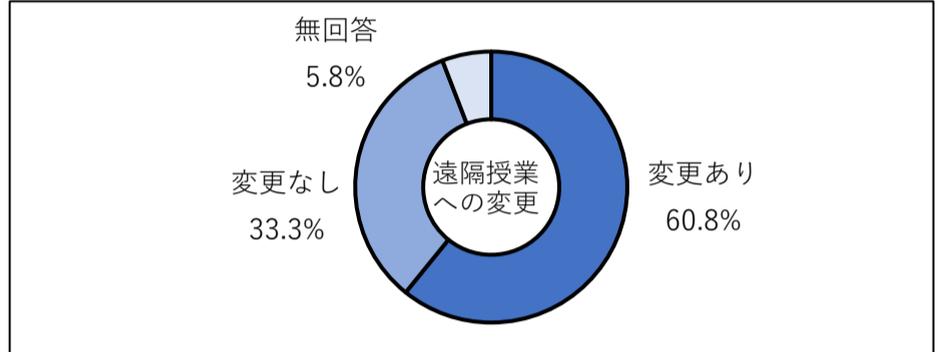
学内実習への変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	668	81.3%
2	変更なし	112	13.6%
	無回答	42	5.1%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



遠隔授業形式※による実習への変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	500	60.8%
2	変更なし	274	33.3%
	無回答	48	5.8%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%

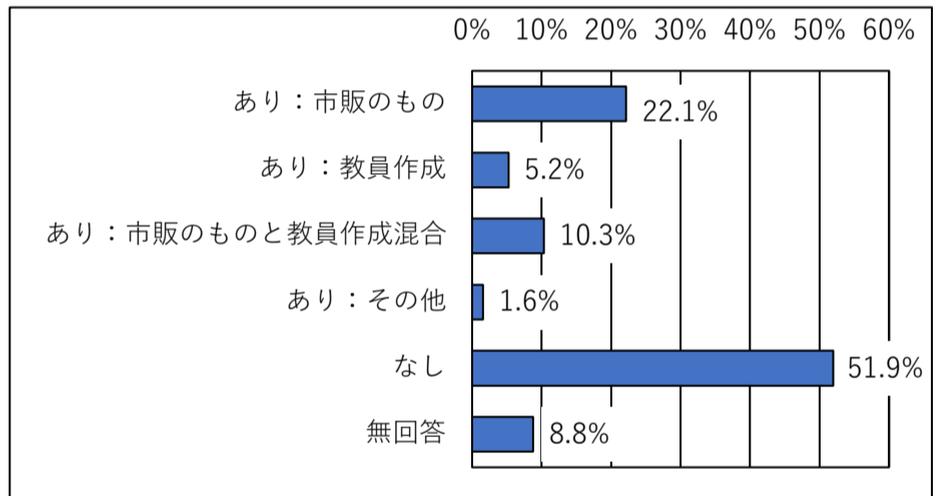


IV. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、実習内容・方法変更の対応・工夫（代替え）についてお聞かせください。

1. 対応・工夫（代替え）の実際

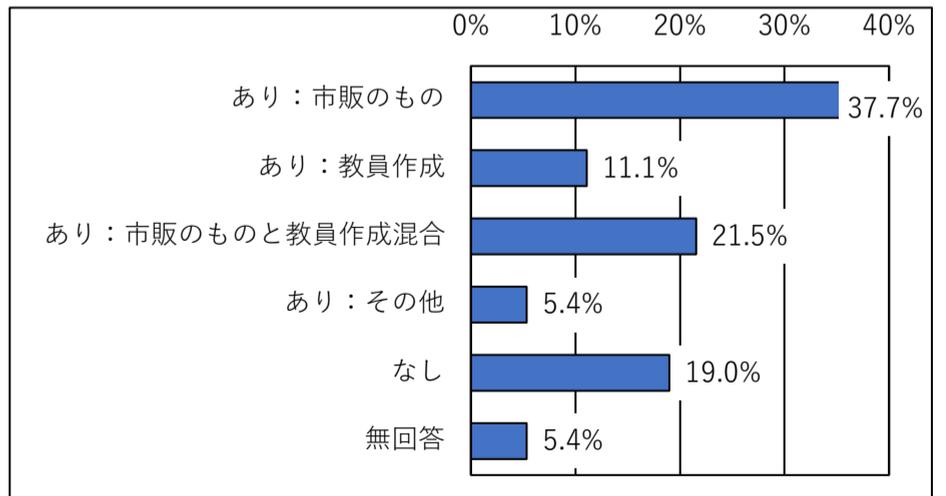
シミュレーターの活用

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：市販のもの	182	22.1%
2	あり：教員作成	43	5.2%
3	あり：市販のものと教員作成混合	85	10.3%
4	あり：その他	13	1.6%
5	なし	427	51.9%
	無回答	72	8.8%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



視聴覚教材の活用

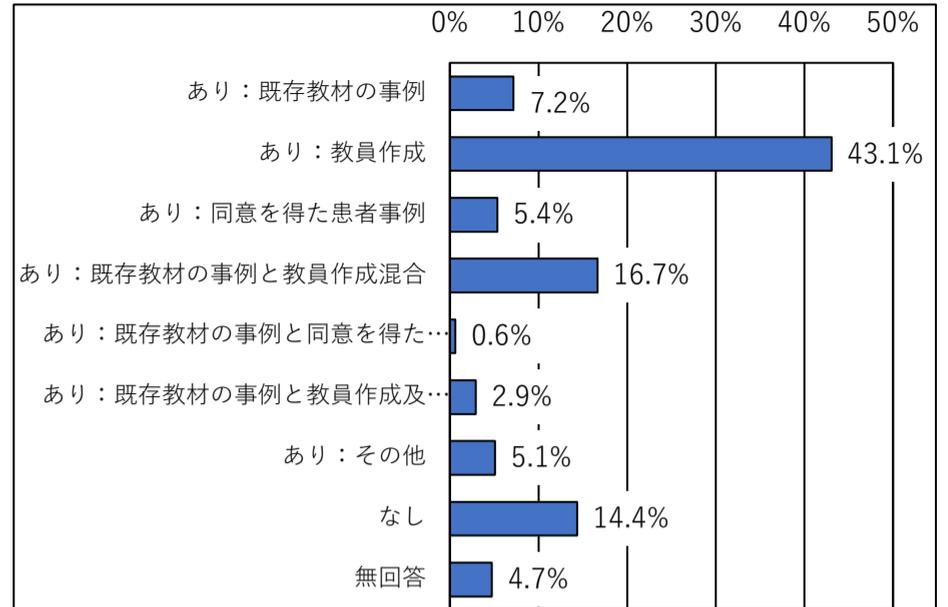
No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：市販のもの	310	37.7%
2	あり：教員作成	91	11.1%
3	あり：市販のものと教員作成混合	177	21.5%
4	あり：その他	44	5.4%
5	なし	156	19.0%
	無回答	44	5.4%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



調査B <日本私立看護系大学協会>

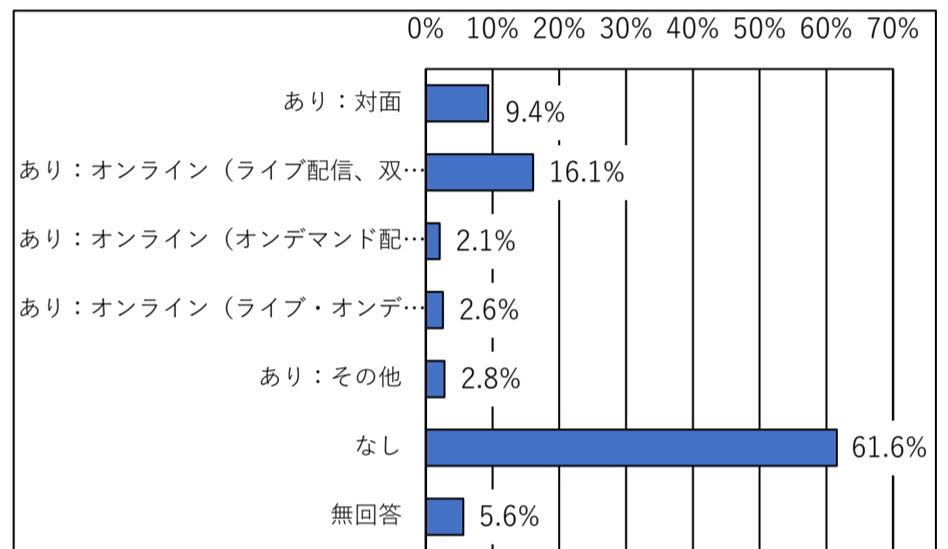
事例の活用

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：既存教材の事例	59	7.2%
2	あり：教員作成	354	43.1%
3	あり：同意を得た患者事例	44	5.4%
4	あり：既存教材の事例と教員作成混合	137	16.7%
5	あり：既存教材の事例と同意を得た患者事例	5	0.6%
6	あり：既存教材の事例と教員作成及び同意を得た患者事例混合	24	2.9%
7	あり：その他	42	5.1%
8	なし	118	14.4%
	無回答	39	4.7%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



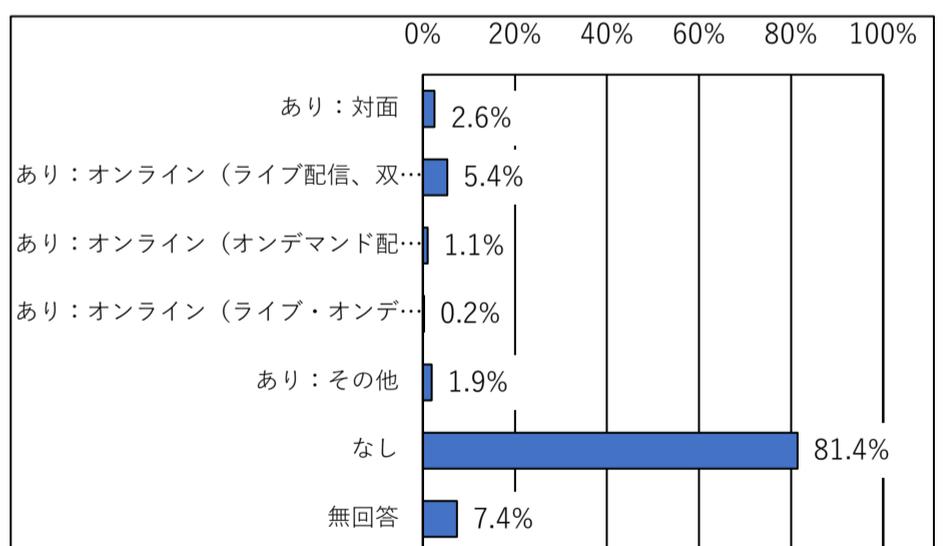
実習指導者の招聘

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：対面	77	9.4%
2	あり：オンライン（ライブ配信、双方向型）	132	16.1%
3	あり：オンライン（オンデマンド配信）	17	2.1%
4	あり：オンライン（ライブ・オンデマンド混合）	21	2.6%
5	あり：その他	23	2.8%
6	なし	506	61.6%
	無回答	46	5.6%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



患者（看護の対象）の招聘

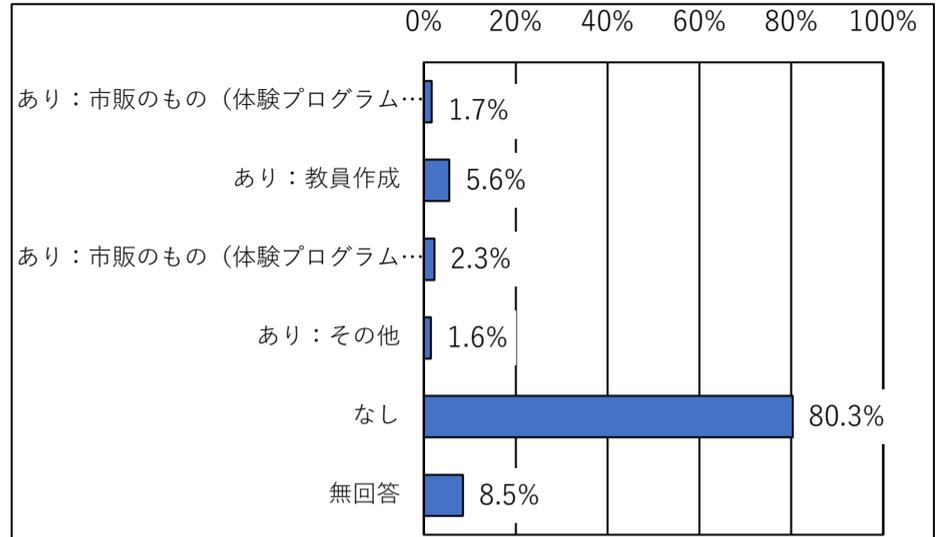
No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：対面	21	2.6%
2	あり：オンライン（ライブ配信、双方向型）	44	5.4%
3	あり：オンライン（オンデマンド配信）	9	1.1%
4	あり：オンライン（ライブ・オンデマンド混合）	2	0.2%
5	あり：その他	16	1.9%
6	なし	669	81.4%
	無回答	61	7.4%
	非該当	123	0.0%
	全体	822	100.0%



調査B <日本私立看護系大学協会>

XR（仮想現実VR、拡張現実AR、複合現実MR）演習

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：市販のもの（体験プログラムなど）	14	1.7%
2	あり：教員作成	46	5.6%
3	あり：市販のもの（体験プログラムなど）と教員作成の混合	19	2.3%
4	あり：その他	13	1.6%
5	なし	660	80.3%
	無回答	70	8.5%
	非該当	123	0.0%
	全体	822	100.0%

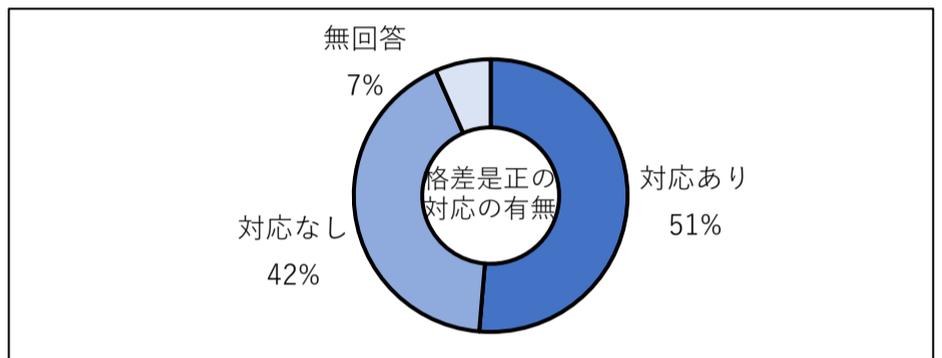


2. 学生によって実習内容・方法が異なった場合(例：臨地での実習有無、受け持ち患者の有無など)、

学修体験の格差を是正するための対応はされましたか。

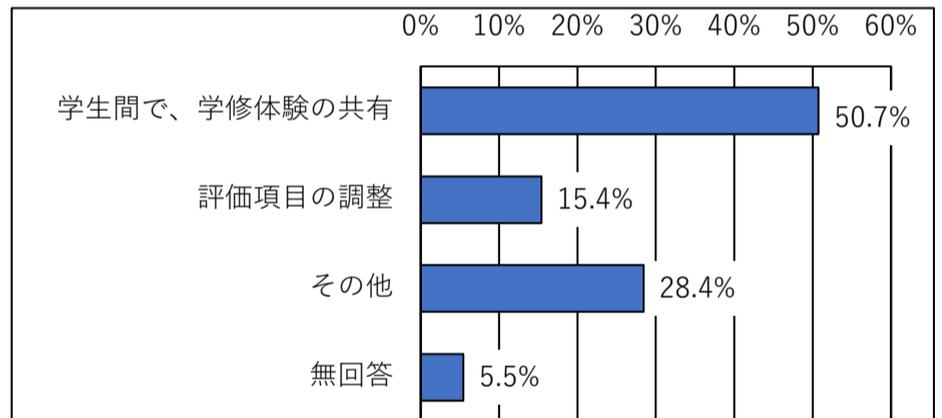
1) 学修体験の格差を是正するための対応の有無

No.	カテゴリー名	n	%
1	対応あり	422	51.3%
2	対応なし	346	42.1%
	無回答	54	6.6%
	非該当	123	0.0%
	全体	822	100.0%



2) 対応の具体的な内容

No.	カテゴリー名	n	%
1	学生間で、学修体験の共有	214	50.7%
2	評価項目の調整	65	15.4%
3	その他	120	28.4%
	無回答	23	5.5%
	非該当	523	0.0%
	全体	422	100.0%

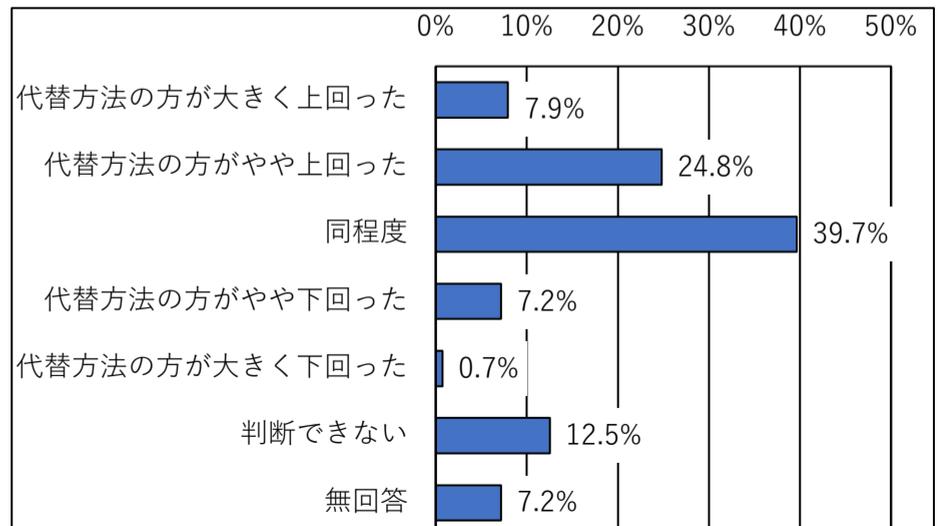


3. 臨地での実習短縮・中止に伴い、実習内容・方法の変更への対応・工夫（代替え）の結果、実習目標の到達状況についてお聞かせください。

1) 知識・技術・態度に関する実習目標の到達状況について、通常の実習内容・方法と比べてご回答ください。

知識に関すること

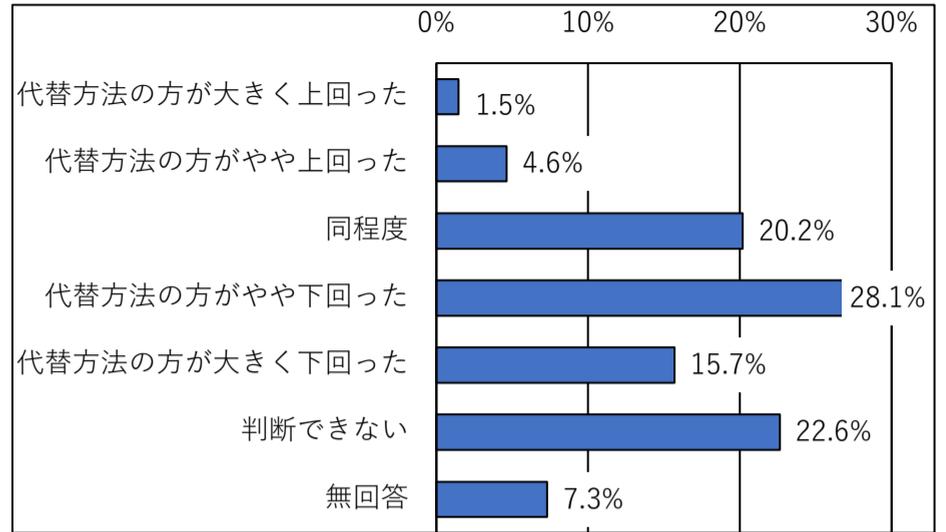
No.	カテゴリー名	n	%
1	代替方法の方が大きく上回った	65	7.9%
2	代替方法の方がやや上回った	204	24.8%
3	同程度	326	39.7%
4	代替方法の方がやや下回った	59	7.2%
5	代替方法の方が大きく下回った	6	0.7%
6	判断できない	103	12.5%
	無回答	59	7.2%
	非該当	123	0.0%
	全体	822	100.0%



調査B <日本私立看護系大学協会>

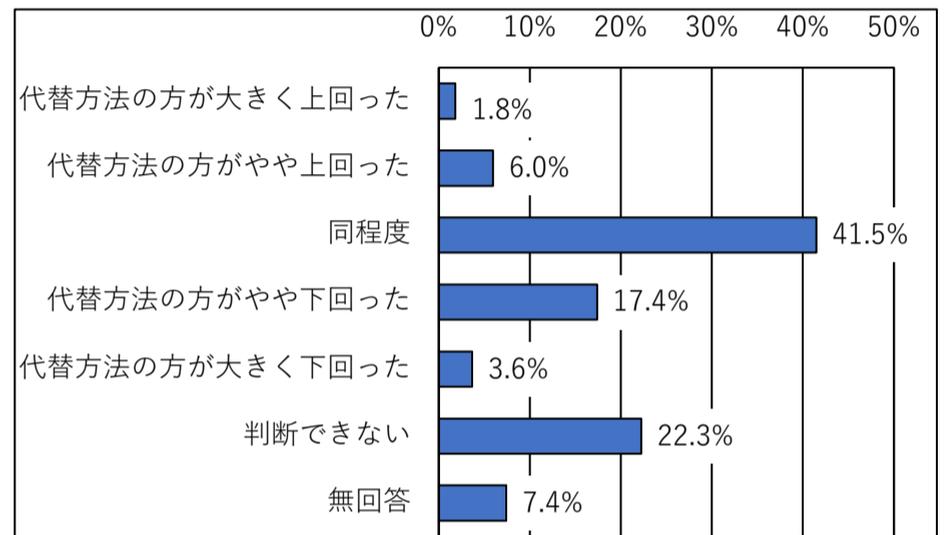
技術に関すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	代替方法の方が大きく上回った	12	1.5%
2	代替方法の方がやや上回った	38	4.6%
3	同程度	166	20.2%
4	代替方法の方がやや下回った	231	28.1%
5	代替方法の方が大きく下回った	129	15.7%
6	判断できない	186	22.6%
	無回答	60	7.3%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



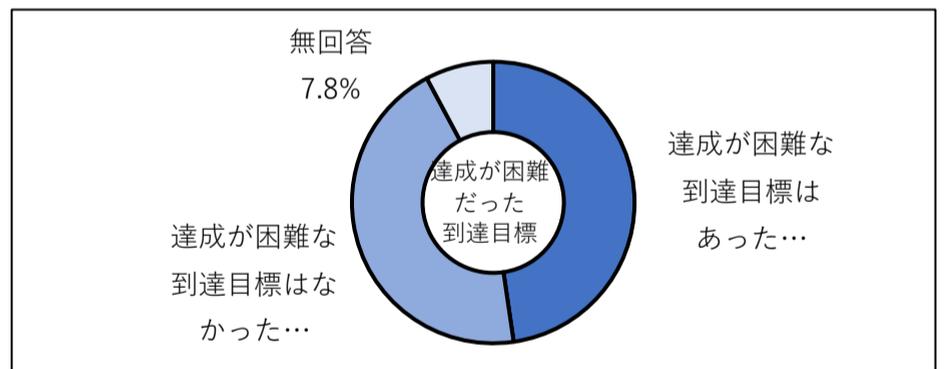
態度に関すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	代替方法の方が大きく上回った	15	1.8%
2	代替方法の方がやや上回った	49	6.0%
3	同程度	341	41.5%
4	代替方法の方がやや下回った	143	17.4%
5	代替方法の方が大きく下回った	30	3.6%
6	判断できない	183	22.3%
	無回答	61	7.4%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



2) 実習内容・方法の変更への対応・工夫(代替え)を行なっても、到達が困難であった到達目標はありましたか。

No.	カテゴリー名	n	%
1	達成が困難な到達目標はあった	392	47.7%
2	達成が困難な到達目標はなかった	366	44.5%
	無回答	64	7.8%
	非該当	123	
	全体	822	100.0%



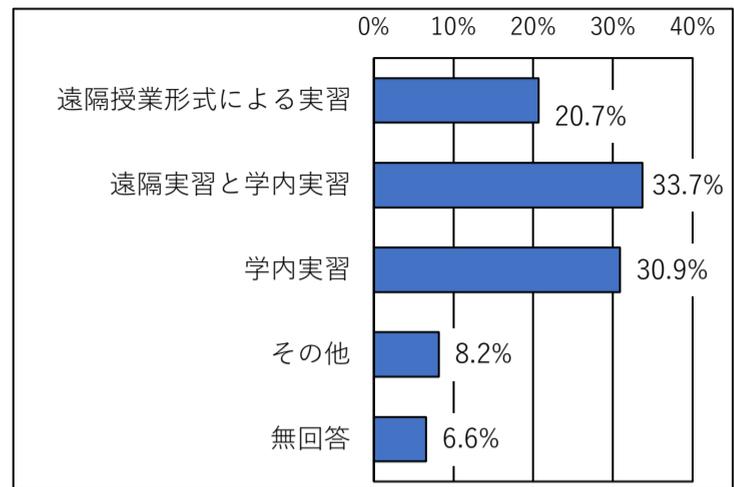
調査B <日本私立看護系大学協会>

V. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

1. 実習形態について、プルダウンリストから選択してください。

実習形態について

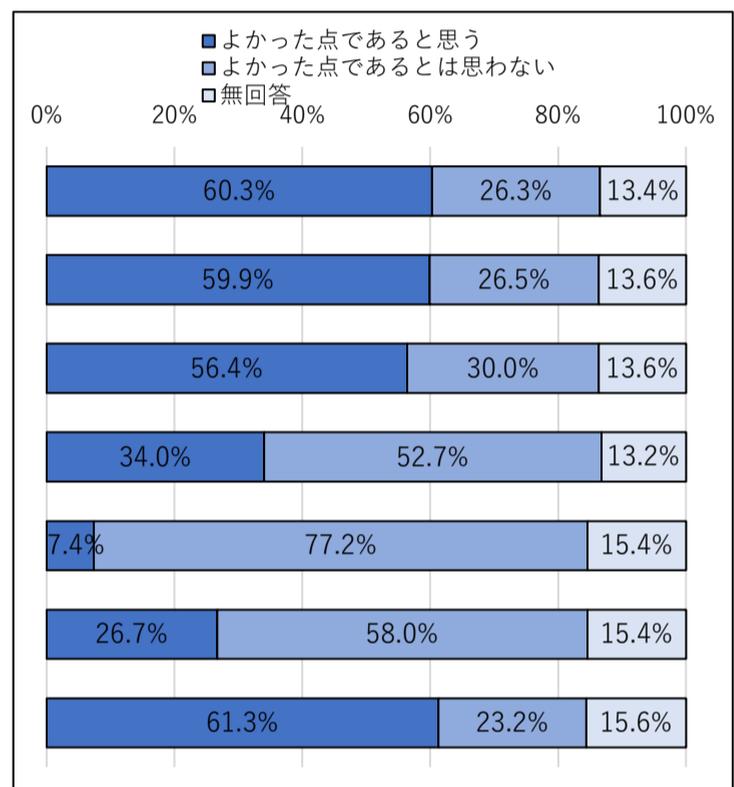
カテゴリー名	n	%
遠隔授業形式による実習	170	20.7%
遠隔実習と学内実習	277	33.7%
学内実習	254	30.9%
その他	67	8.2%
無回答	54	6.6%
非該当	123	
全体	822	100.0%



2. 遠隔授業形式による実習と学内実習でのよかった点を選択してください。

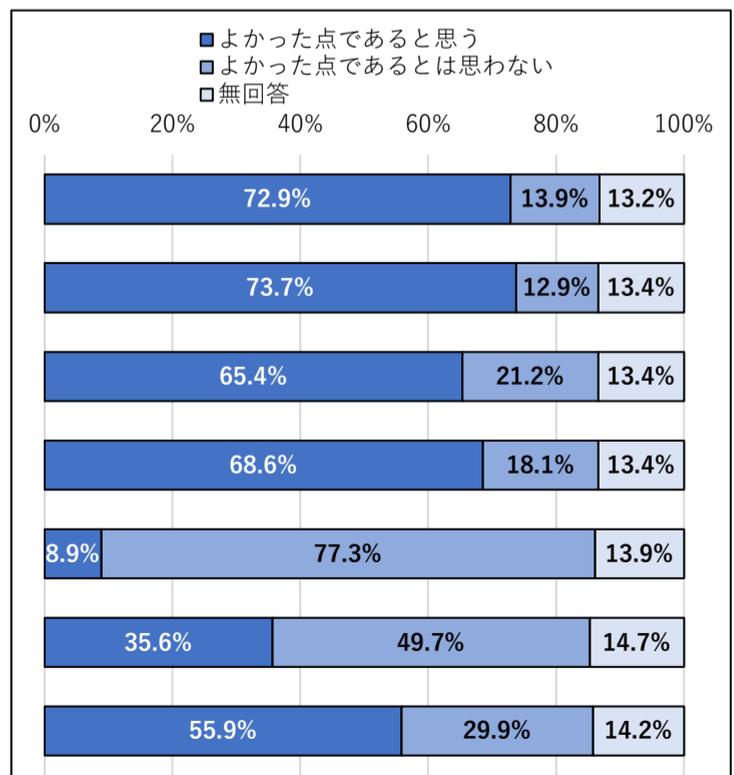
1) 遠隔授業形式による実習のよかった点

	全体	よかった点であると思う	よかった点であるとは思わない	無回答
学生の学修進度が把握しやすい	514	310	135	69
	100.0%	60.3%	26.3%	13.4%
学生の参加状況が把握しやすい	514	308	136	70
	100.0%	59.9%	26.5%	13.6%
学生に教材が提示しやすい	514	290	154	70
	100.0%	56.4%	30.0%	13.6%
学生とコミュニケーションがとりやすい	514	175	271	68
	100.0%	34.0%	52.7%	13.2%
実習の準備が軽減した	514	38	397	79
	100.0%	7.4%	77.2%	15.4%
学生の学修意欲が高まった	514	137	298	79
	100.0%	26.7%	58.0%	15.4%
学生の自己学修時間が増えた	514	315	119	80
	100.0%	61.3%	23.2%	15.6%



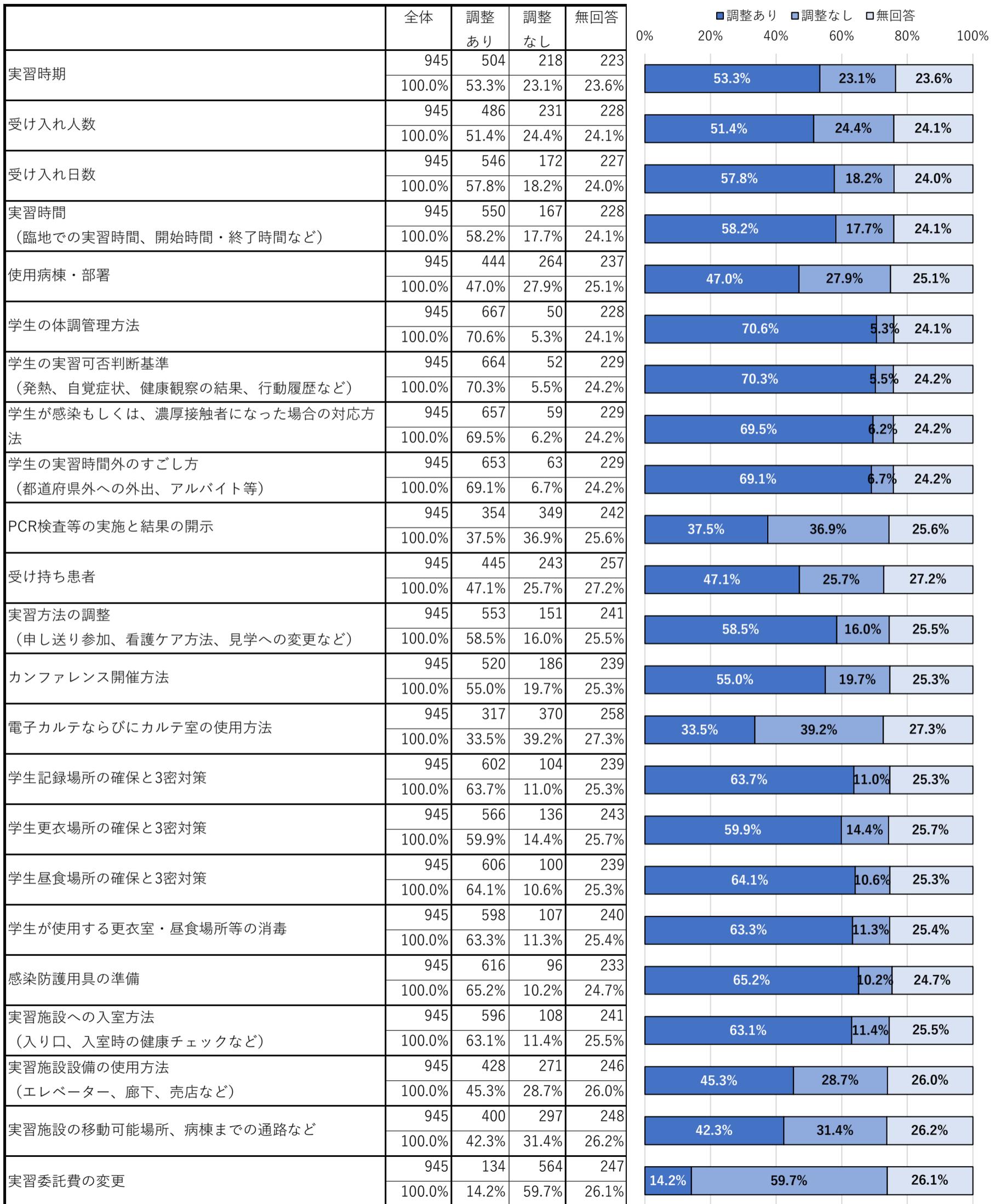
2) 学内実習のよかった点

	全体	よかった点であると思う	よかった点であるとは思わない	無回答
学生の学修進度が把握しやすい	598	436	83	79
	100.0%	72.9%	13.9%	13.2%
学生の参加状況が把握しやすい	598	441	77	80
	100.0%	73.7%	12.9%	13.4%
学生に教材が提示しやすい	598	391	127	80
	100.0%	65.4%	21.2%	13.4%
学生とコミュニケーションがとりやすい	598	410	108	80
	100.0%	68.6%	18.1%	13.4%
実習の準備が軽減した	598	53	462	83
	100.0%	8.9%	77.3%	13.9%
学生の学修意欲が高まった	598	213	297	88
	100.0%	35.6%	49.7%	14.7%
学生の自己学修時間が増えた	598	334	179	85
	100.0%	55.9%	29.9%	14.2%



調査B <日本私立看護系大学協会>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。



調査B <日本私立看護系大学協会>

ヒアリングの可否

No.	カテゴリー名	n	%
1	協力可能	530	56.1%
2	協力不可	271	28.7%
	無回答	144	15.2%
	全体	945	100.0%

